

## あけまして おめでとう ございます



明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。町民の皆さまの付託を受け、昨年4月から新たに町政運営を担うことになり、就任から9カ月間、町の発展のため邁進してまいりました。皆さまのご協力のもと、大過なく新年を迎えられたことを感謝申し上げます。町政65年を迎える本年も、皆さまのご期待に沿うべく全力を尽くしてまいります。

本年は天皇陛下が退位され、5月には皇太子殿下が新たな天皇に即位されることから、時代が変わる年でもあります。御用邸を有する本町が変化するようご祈念いたしますとともに、自然豊かなこの町をこよなく愛する皇太子殿下が、新たな天皇陛下としてご来訪になる日を心からお待ち申し上げます。祝福と歓迎の機運を、町民の皆さまとともに高めていきたいと考えております。

さて、那須水害から20年が経過した昨年は、奇しくも、地震や豪雨、台風、記録的猛暑などの自然災害が国内で多発し、防災について改めて考える1年となりました。町では、10月に総合防災訓練を実施し、地域住民の皆さまのほか、関係団体や機関とともに町の防災体制の再確認を図りました。今後の取組みとしては、猛暑から児童生徒の健康を守り安心安全な教育環境を確保するため、小中学校の全普通教室にエアコ

ンを設置いたします。6月までに設置が完了するよう作業を進めているところです。災害の被害拡大を防ぐためには、こうした行政の対応はもちろん、「自助（自らの身を自分で守ること）」、「共助（地域で協力して助け合うこと）」の意識も非常に大切となります。今後も防災体制を強化し、災害に強いまちづくりを皆さまとともに進めてまいります。

また本年も、第7次那須町振興計画に掲げた「移住（定住）を促すまちづくり」、「子育てしやすいまちづくり」、「地域振興」という3つの重点的な取組みを中心に、各種施策を進めてまいります。

移住定住施策としては、昨年設置した移住定住コーディネーターによる相談業務や空き家バンクの活用、移住定住PR冊子「NASULIFE」を配布し、町への移住希望者を全力でサポートします。移住者の体験談や支援策等の周知を積極的に行うことで、移住に関する不安や心配を減らし、町の生活の魅力を情報発信していきます。子育て支援については、昨年開始した乳幼児向けおむつ券の支給のほか、新たに産後ケアの充実にも取り組めます。子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援体制をより一層強化してまいります。

本年も人口減少や少子化の進展といった大きな課題に的確に対応し、町の魅力と活力が維持されるよう全庁を挙げて組織的・横断的に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この1年が皆さまにとりまして辛多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

那須町長 平山 幸宏